

ともえ



函館商工会議所
創立
100周年



「盛春の基坂」

No. **164** 函館商工会議所報
1995 — **6**月号

のびゆく地元のお手伝い……

ゆたかな夢を大きく育てる。

みなさまの



函館信用金庫

本部 函館市豊川町7番19号 TEL22-1241(代)

本 店	函館市豊川町15番20号	TEL 22 -1247(代)	亀田支店	函館市亀田本町56番4号	TEL 42 -3820(代)
松風町支店	函館市松風町11番15号	TEL 23 -6221(代)	中道支店	函館市中道1丁目24番12号	TEL 51 -1711(代)
ばんだい支店	函館市宮前町14番15号	TEL 41 -6236(代)	上磯支店	上磯郡上磯町飯生町2丁目4番24号	TEL 73 -2151(代)
五稜郭支店	函館市本町30番24号	TEL 52 -0511(代)	えさん支店	亀田郡恵山町字中浜115番の4	TEL 84 -2111(代)
井天支店	函館市弁天町13番11号	TEL 26 -3646(代)	七飯支店	亀田郡七飯町字本町392番8	TEL 65 -2501(代)
千代台支店	函館市千代台町12番22号	TEL 51 -5238(代)	木古内支店	上磯郡木古内町字本町53番1	TEL 木古内 2 -3121(代)
湯川支店	函館市湯川町2丁目18番7号	TEL 57 -1492(代)	知内支店	上磯郡知内町字重内13番地の11	TEL 知内 5 -5611(代)
花園支店	函館市日吉町1丁目27番3号	TEL 53 -5521(代)			

Lhくみのローン

手続カンタン
スピード融資

目的ローン

マイカーローン

ビジネス・オートローン

★詳しくは窓口へ
お問い合わせ下さい。



・コミュニティバンク・

函館商工信用組合

本店 函館市千歳町9の6 ☎(代)23-2101

- 湯川支店 ☎57-0572(代)
- 上磯支店 ☎73-2308(代)
- 美原支店 ☎46-9121(代)
- 十字街支店 ☎26-5544(代)
- 花園支店 ☎55-2110(代)
- 富岡支店 ☎43-1311(代)

視点

会議所の動き

2~5

1

- ・情報処理技術者試験実施
- ・サハリン研究会設置
- ・商業部会幹事会
- ・欧州視察旅行
- ・みなみ北海道広域商工連絡協議会
- ・五稜郭祭

データをチェック

6~11

- ・地域の景気 金融経済概況四月
- ・市内第一種大規模小売店舗売上高四月
- ・景気動向 平成六年度4四半期

共済推進コーナー

12

紙上演説

13~14

- ・商人物語(6) 柏原三右衛門
- ・人を活かす(20) 動機づけの理論

テイ・タイム

15

アドバイスコナー

16~17

- ・PL法で変わる企業経営(2)

Q & A

18~19

- ・みんなの相談室 税務・労務相談
- ・インフォメーション

20~22



◇今月の表紙

春だ。

木々に緑が戻り、花が一斉に咲き乱れる。さわやかな春の風が、今年もこの街にたくさんの人を連れてきた。基坂にバスが連なり、修学旅行生の笑顔がほれる。彼ら青春の思い出の中に、函館は生き続いている。大人になったら、またこの街で会おう。

今年も、どんな夏になるだろう。

視点



先般、(社)函館観光協会が名称を変更し、(社)函館国際観光協会となった。大変タイムリーな事であり、創立六十周年の重みを改めて感じ、関係者の今日までのご努力に対し、深く敬意を表したい。

この度、市が平成六年度の観光客入込み数を発表したが、五年度と比較して二・一%増の四百九十二万六千人となり、十万人一人の増加となった。

増加の要因としては、エージェンツによる格安商品の発売、昨年の大型観光キャンペーンによる宣伝効果の浸透、スキー修学旅行など冬季観光振興などが考えられている。

今回の調査結果をみると、長引く景気低迷、今年の一月の阪神大震災、急激な円高など、マイナス要因の中での増加は評価されるのではないだろうか。

今後は、景気に左右されない足腰の強い街づくりが望まれる。先日の名鉄観光の犬飼会長の講話の中で触れられていたが、他の地域にないものがあるか(函館の特色はなにか)リーダーやハードよりソフトへの転換などが、重要であるとお話をお聞きをし、あらためて足元を見直したところである。これからも官民一体となった積極的な取り組みが求められているのではないか。

会議所の動き



五稜郭祭の一コマ



設立された協議会の様子

要望活動実る！

情報処理技術者試験の実施

本誌五月号で既報のとおり、本所と函館市は情報処理技術者試験の地元開催を国に要望しておりましたが、このたび六月五日付の官報公示で、今秋十月十五日実施分より本市で実施されることになりました。また、本試験の円滑な運営と、

地域の情報化を推進するための組織として「函館地域情報処理技術者試験推進連絡協議会」が、去る五月十六日の設立総会で決定され、発足いたしました。

協議会は本所や函館市をはじめ、教育機関、情報関連産業等八十の

企業、団体等で構成され、総会には三十二名が出席、会長には沼崎本所副会長が、副会長には岩船函館市商工観光部長、大島函館商業高校長がそれぞれ選任され、就任いたしました。また今後の事業活動としては、本試験制度の周知や啓蒙のためのPRキャラバンなど

広報活動に協力し、更に、資格取得者に対する優遇措置等について、企業に協力を要請するなど、幅広い事業の実施が承認されました。

官民一体の組織として サハリン研究会設置される

サハリン大陸棚の石油・天然ガス資源開発プロジェクトについては、サハリンⅡが昨年六月ロシア政府とオイルメジャーなど五社が調印をし、また、サハリンⅠについては今年六月二十九日にモスクワで調印予定で、これに合わせ本年六月には、ロシア国内の関係法案が承認される予定にもなっております。急速に具体化を示しています。

このような状況の中で、本所と

して、昨春秋にはサハリン特別委員会（泉委員長）を設置し、当該プロジェクトの後方支援基地としての当地域の活用について検討をしています。

現在のところ、プロジェクトの本部機能については、シンガポールが有力となっていますが、函館は、その物流のための後方支援基地としての有効活用を図るため市をはじめ関係団体等と取り組んで

いるところですよ。

このため、サハリン開発プロジェクトの玄関口であるユジノサハリンとわが国唯一の国際定期航空路で結ばれている本市の優位性を生かし、後方支援基地実現へ向け官民一体となった組織として、五月十日「サハリン研究会」を設立したものです。

研究会は、本所若林相談役を世話役として、市からは企画・商工観光・港湾部の各部長、北東公庫函館事務所長、函館どつく造船所長など十二名で構成されています。

閉店時間延長を審議 商業部会幹事会開催

函館市第一種大規模小売店舗、「北海道スーパーマーケットダイエー五稜郭店及び同湯川店」の閉店時刻繰下げ並びに休業日数削の届出に伴う本所意見の取りまとめのため、商業部会幹事会が去る五月一日、本所にて開催されました。会議では、今回の届出内容（閉

これからの取り組みとしては、サハリン開発が進展する中で函館空港におけるCIQ体制の充実や、函館港の整備拡充について協議していくことにしています。

このほか、ポートセールスに合わせ、サハリンⅡの参加企業である三井物産との協議のため、六月一日には同社を訪問し、今後のスケジュール等について打合せを行い、オイルメジャーに対して今後とも積極的に働き掛けをして行くことにしています。

店時刻現行午後八時を午後九時に繰下げる。休業日数現行年二十四日を年十二日に削減する。）及び計画趣旨の説明の後、協議が行われました。

その結果、現在の景況下では中小小売業者への影響が大きいことなどから、閉店時刻の繰下げ・

休業日数の削減は認められず、現行どおりとする結論に達し、その旨を会頭に答申することとなりました。また、協議終了後、平成七年度

欧州視察旅行終わる

本所創立一〇〇周年記念事業の第一弾として、欧州視察が五月二十六日から八日間の日程で実施されました。

本所松本会頭が団長となり、ロンドンの公共施設（キャノン・ス



ウォータール 駅のユーロトンネル乗り場



左から、猪瀬日本人会議所会頭、本所松本会頭、パリ会議所・フォーティン副会頭

の函館市における商業振興施策の概要について、函館市から古川商業振興課長を講師に招いての説明会を開催しました。

トリート駅、終着駅ウォータール駅舎、ブロードゲート再開発地区、ユーロトンネル展示センター）を視察した後、ユーロトンネルを通過してパリに入り、バスツールモンパルナス再開発地区を視察、さらに、パリ商工会議所を表敬訪問し、国際交流を深めてきました。後日、これら報告書を作成予定です。

道南の連携強化へ

みなみ北海道広域商工連絡協開催

渡島・松山管内の二商工会議所および二十七商工会で構成される「みなみ北海道広域商工振興連絡協議会」の平成七年度第一回総会が、五月二十二日に本所松本会場ほか二十二人が出席し、函館ハーバービューホテルで開催されました。

総会では、平成六年度事業並びに収支決算報告と、平成七年度事業計画並びに収支予算などが審議され、この中で「商工振興対策」として広域観光ルート整備と広域観光圏の確立や青函インタープロック交流圏構想の推進、「交通輸送体系の整備促進」として新幹線や幹線道路を中心とした整備促進と、これに係る「陳情要望活動」の実施などに取り組むことになりました。

また、役員改選については、これまで慣例で選任されてきた正副会長・監事等の役員について、規

約上で就任する団体を明確にすることが提案され、

会 長 Ⅱ 函館商工会議所会頭
副会長 Ⅱ 函館商工会議所副会頭、
森商工会議所会頭、北海
道渡島および松山管内商
工会連合会会長

監 事 Ⅱ 北海道渡島および松山管
内商工会連合会副会長
が承認決定され、これにともない
規約の一部改正がおこなわれました。

雨の中勇壮に行進！

箱館五稜郭祭

第二十六回箱館五稜郭祭の様々に、市内各所で開催されました。

二十日には、碑前祭が中島三郎助親子最期の地碑・碧血碑・土方歳三最期の地碑で行われたほか、五稜郭公園では、協賛会長である本所松本会場から「錦の旗」を渡

すオープニングセレモニーや、第八回ミスター土方コンテストが開催されました。

また、翌二十一日には祭り最大のイベントである音楽パレードと維新行列が、生憎の小雨の中で実施されました。維新行列には、黒船に安井市助役・小笠原本所副会頭が乗り込み参加しましたが、当日は悪天候のためか沿道の観客も例年に比べ減少し、実行委員会の調べでは八万五千人となりました。



冒頭挨拶する松本会場

優秀な人材確保に、「買い手市場」の今こそチャンス!

平成8年度社員採用合同企業説明会

参加企業受付中!

採用対象者 ① 平成8年3月の大学、短大、専門学校の卒業予定者
② Uターン就職希望者
開催日時 平成7年7月15日(土) 10:00 ~ 15:00
開催場所 函館ハーバービューホテル
参加費 1社 50,000円
申し込み・ 函館商工会議所 TEL 23-1181 FAX 27-2111
問い合わせ先 函館地方法人会 TEL 26-9369 FAX 23-7655
申込締切日 平成7年6月末日

◎ 来春の新規採用計画の準備はお済みですか?



事務局日誌

5月

* 正副会頭会議

- 16(火) 第16回正副会頭会議
- 22(月) 第17回正副会頭会議

* 部 会

- 1(月) 商業部会幹事会

* 会 議(日商)

- 23(火) 小企業等経営改善資金制度に係る幹事商工会議所会議
- 24(水) 規模別商工会議所専務理事懇談会
- 25(木) 第49回全国商工会議所専務理事、事務局長会議

* 会議(道商連)

- 12(金) 第34回運営委員会
- 〃 第160回全道商工会議所専務理事、事務局長会議

* 審査会

- 22(月) 第2回小企業等経営改善資金審査会

* 諸 会 議

- 8(月) 第20回湯の川温泉街活性化推進懇談会
- 10(水) サハリン研究会
- 〃 函館空港整備促進連絡協議会
- 〃 函館港まつり実行委員会正副委員長及スタッフ会議
- 〃 本所議員会海外産業経済視察説明会
- 12(金) 日本団体生命保険(株)北海道ウイズプラン協議会
- 16(火) 函館地域情報処理技術者試験推進連絡協議会
- 17(水) 創立100周年記念事業産業展打合せ
- 〃 函館港利用促進協議会理事会総会幹事会
- 〃 函館市自衛隊協力会平成7年度総会防衛講話
- 〃 函館日米協会理事会通常総会講演会
- 〃 本所婦人会5月例会
- 18(木) 北海道中小企業団体中央会道南支部平成7年度通常総会
- 〃 第26回箱館五稜郭祭実行委員会行前部会
- 〃 所報「ともえ」編集会議
- 19(金) (社)函館国際観光協会通常総会
- 〃 渡島地方技能尊重運動推進協議会定時総会
- 22(月) (財)函館市住宅都市施設公社監査会
- 〃 函館税務署平成7年分所得税の特別減税説明会
- 〃 函館空港国際化推進協議会総会
- 〃 みなみ北海道広域商工振興連絡協議会総会
- 23(火) 函館販売士協会役員会
- 〃 函館警察官友の会理事会総会
- 〃 函館中国経済促進協会平成7年度総会講演会
- 〃 北海道通商産業局Gマーク商品選定制度説明会
- 〃 1995年度函館夜景の日実行委員会
- 24(水) 函館港まつり実行委員会事業部会
- 〃 (財)北海道大沼国際交流協会平成7年度第1回評議員会
- 〃 サハリン研究会
- 25(木) 郷土芸能函館太鼓振興会定時総会
- 〃 みなみ北海道観光連盟平成7年度通常総会
- 26(金) 函館港まつり実行委員会開港セレモニー打合せ
- 〃 函館地区電力有効利用協議会平成7年度定時総会講演会
- 〃 青函インターネット交流圏構想推進協議会連絡会
- 〃 円高に関する函館地域緊急懇談会
- 29(月) レイクマコーリー市経済視察団懇談会
- 〃 函館園企業誘致推進協議会平成7年度第1回幹事会
- 〃 函館経営者協会平成7年度定時総会
- 30(火) 函館極東貿易協同組合平成7年度通常総会
- 〃 函館日口親善協会平成7年度総会
- 31(水) 函館都心商店街振興組合第1回中小商業活性化事業カード事業委員会

* 講 習・催 物

- 9(火) 平成7年度3級販売士養成講習会(～7/4)

- 10(水) 経営相談
- 〃 第4回会津の物産と観光展(～5/16)
- 17(水) 発明相談
- 〃 中小企業相談所移動相談室
- 20(土) 中島町会中島義生氏講演会
- 25(木) 第12回北海道味覚まつり(～5/30)
- 26(金) 法律相談
- 30(火) 函館市環境部街頭啓発「グリーン缶ペーン」

* 刊 行 物

- 10(水) 所報「ともえ」5月号 No.163

* 相 談・診 断

金融	60	税務	26	経理	4	経営	26
労働	1	取引	1	その他	3	合計	121

* 貸 室 10

* 文 書 受信 248 発信 26

* 検 定・大 会

- 20(土) 第15回2級ワープロ技能検定試験
- 21(月) 平成7年度第1回4級ワープロ技能検定試験

* 慶 弔・そ の 他

- 1(月) 北海道新聞函館支社鎌形報道部長兼論説委員来所
- 8(月) FMいるか第1回ビジネスネットワーク取材
- 9(火) 函館信用金庫第72期通常総代会後懇親会
- 〃 函館特産食品工業協同組合総会後懇親会
- 〃 会津若松ミス会津他表敬訪問
- 11(木) 加地彦太郎議員十勝管内清水町紺寝養章受与式祝賀会
- 〃 箱館戦争戦没者供養祭直会
- 15(月) 北海道税理士会函館支部定時総会後懇親会
- 〃 東日本フェリー(株)木村取締役副事業本部長他表敬訪問
- 16(火) 函館どつく(株)函館造船所S.No.758(26,400MTDW型 撒積貨物船)進水式、祝賀会
- 〃 函館機械金属造船工業協同組合連合会第19期通常総会後懇談会
- 〃 北海道電気通信管理局電気通信部阿部電気通信事業課長来所
- 18(水) 創立100周年記念事業海外産業経済視察団結団式
- 〃 北海道婦人少年室春木室長来所
- 〃 エムサービス(株)若杉代表取締役社長他来所
- 〃 三菱商事(株)伊藤礼儀支社長来所
- 19(金) (株)函館観光協会創立60周年及び(株)函館国際観光協会 発足記念式典記念講演、祝賀会
- 〃 函館都心商店街振興組合平成7年度通常総会懇親会
- 〃 堀新知事に対する表敬訪問
- 20(土) 第26回箱館五稜郭祭記念式典
- 〃 ミスター土方コンテスト
- 21(日) 第26回箱館五稜郭祭本祭新行列
- 〃 湯川商店街振興組合平成7年度第15期通常総会後懇親会
- 22(月) (社)函館地方法人会通常総会後懇親会
- 〃 北海道新幹線対策室関口参事他来所
- 23(火) 全国珍味商工業協同組合連合会第35回全国珍味大会懇親会
- 〃 (財)21世紀職業財団武田北海道事務所長他来所
- 〃 中華人民共和国札幌領事館趙経済商務領事表敬訪問
- 24(水) (株)A D S 樟二森屋店黒坂取締役店長他来所
- 25(木) 五稜郭商店街振興組合平成7年度通常総会後懇親会
- 26(金) 創立100周年記念事業海外産業経済視察団出発(～6/2)
- 28(日) レイクマコーリー市経済関係者来函出迎え
- 29(月) (協)函館専門店会第43回通常総会後懇親会
- 〃 レイクマコーリー市経済視察団歓迎夕食会
- 〃 函館市議会福島議長、小玉副議長就任挨拶
- 〃 赤坂東急ホテル石川取締役総支配人他来所
- 30(火) 共栄運輸(株)はやぶさ竣工披露
- 〃 函館物産協会平成7年度定時総会後懇親会
- 〃 函館工業高等専門学校三浦庶務課長他来所
- 〃 北海道通産局大黒課長補佐来所
- 31(水) 在札幌ロシア連邦A・V・クリフツォフ総領事来所
- 〃 北海道広瀬渡島支庁長転任挨拶

宅向けの受注がみられたものの、安値合板の輸入量が増加しており、抑制的な生産が続いている。魚網は、需要の低迷を背景に低水準の生産を余儀なくされている。

(4) 建設関連

4月の管内公共工事請負額は、産業基盤(道路)関連の発注増加により前年比+25.8%と7ヶ月振りに前年を上回った。また、函館市および周辺3町の新設住宅着工戸数は、持家、貸家を中心に順調な推移となっている。

(5) 農業

水稲等農作物の生育状態は平年並みとなった。もっとも、4月下旬から5月上旬にかけて降水量が多かったため、一部では耕起作業等の農作業にやや遅れが出ている。

(6) 消費関連

4月の市内大型小売店の売上高は、食料品はスーパーを中心に前年を上回ったが、天候不純による衣料品の落込みが響いて、全体では、4ヶ月連続の前年割れ(前年比マイナス3.7%)となった。耐久消費財では家電販売が、パソコン等情報家電を主体として、好調を継続しているほか、4月の新車登録台数は普通車、小型車とも前年を上回り、全体では、3ヶ月連続して前年比プラス4.9%と前年を上回った。一方、観光・レジャー面をみると、

団体客の入込み減少に加えて個人客の動きも鈍く、4月の主要ホテル宿泊客数は4ヶ月連続して前年を下回った。また、5月入り後もゴールデンウィーク後半にやや盛上がりを見せた程度で、総じて不冴えな状況が続いている。

3. 金融事情(4月中)

実質預金をみると、個人預金が堅調な伸びを示したのに加え、法人預金も建設業者の工事代金の入金等から順調に推移したため、全体でも前年比プラス3.1%と引き続き前年を上回った。また貸出は、全般的に以前として低い伸びに止まっているものの、金利低下等を背景に、宅地取得・造成や小口の増改築に絡む需資が散見された。この間、管内銀行の貸出約定平均金利は、長期、短期金利とも低下したため、全体では月中マイナス0.041%の低下となった。

銀行券は、月中36億円の発行超と前年をやや下回った。

財政収支は公共事業の支払い減少や郵便貯金の受入れ増加を主因に、月中180億円の払超と前年の269億円払超を大幅に下回る払超額となった。

データをチエック

刑法犯にみる女性犯罪の推移
～ 刑法犯検挙件数の2割を占める女性犯罪～

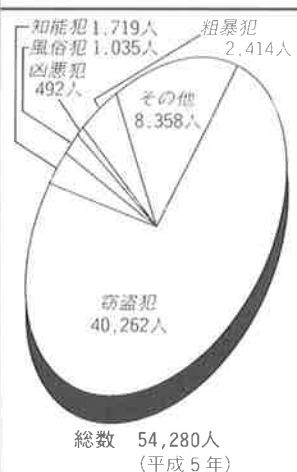
平成5年の刑法犯認知件数は、交通事故に関する数字を含めると2,437,252件。1日当たり、約6,700件の事件や事故が起きていることとなります。なかでも、凶悪犯、粗暴犯、窃盗犯、知能犯、風俗犯などの一般刑法犯認知件数は、約1,800,000件——警察が検挙した件数は、約4割の723,610件です。さらに、検挙した人員は297,725人となっています。

検挙された人員の男女比をみると、男性が243,445人、女性が約2割の54,280人。男性が圧倒的に多くなっています。

特に女性の人員を単に10年前と比べると、27,504人も減っています。しかし、前年と比べると女性の検挙人員は、2,250人増え、近年増加の傾向をみせています。

検挙された女性のなかで特に多い犯罪は、万引きや車上狙いなどの窃盗犯です。これは、刑法犯で検挙された女性の約7割を占め、凶悪犯や粗暴犯など、ほかの犯罪を大きく引き離しています。

一般刑法犯女性検挙人員





1. 概況

管内経済は引続き緩やかな回復基調にあるが、企業マインド面では足許やや慎重となつている。これを需要面からみると、住宅投資は引続き堅調に推移しているほか、公共投資もなお高水準を維持している。又、個人消費も指標によってバラツキがみられるものの総じて緩やかな改善傾向が続いている。しかしながら、設備投資は企業の先行きに対する不透明感がなお根強く、依然盛上りを欠いている。

すなわち製造業では水晶発振器が携帯電話など移動体通信機器の需要増を背景に、また、セメントも外需や震災復興向けなど国内外の需要好調から、いずれもフル生産を継続している。半導体はパソコン向けの好調等から4 MDRAM、マイコンを中心にほぼフル生産となっているほか、漁業機械、合板機械も引き続き高操業を維持している。この間、造船は造船部門がフル操業を続けていることに加え、箸梁部門の操業度も上昇しつつある。一方、水産加工品の売上は、生鮮珍味、乾燥珍味とも低調に推移したほか、水産加工機械の売上も低迷している。

非製造業をみると、4月の市内大型小売店の売上は、4ヶ月連続して前年を下回ったが、家電販売は、パソコンなど情報家電を中心に好調を維持している。また4月の新車登録台数も、3ヶ月連続して前年を上回った。一方、観光動向をみると、観光シーズン入りにも拘わらず団体客、個人客とも動きが鈍く、宿泊施設や観光施設の利用客数は前年を下回る状

態が続いている。

農業では、農作物の生育は平年並みながら、降雨の影響により一部で農作業にやや遅れがみられている。

4月の金融動向をみると、預金は個人預金主体に引き続き堅調な伸びを維持した。また貸出は、5ヶ月連続して前年を上回った。この間、管内銀行の貸出約定平均金利は引き続き低下した。

2. 主要業種別動向

(1) 機械、電子部品

水晶発振器は携帯電話など移動体通信機器の国内外における需要拡大を反映して、下請けを含めフル生産を継続している。半導体も、パソコン向け需要が引続き好調であること等から、主力の4 MDRAM、マイコンを中心にほぼフル生産を続けている。さらに漁業機械はイカ釣り船向け機械が、また、合板機械では針葉樹対応機械が、それぞれ内外の需要好調から高操業を続けている。造船は、修繕船部門が官庁船を中心に好調なほか、新造船部門でも厚目の受注残を抱えフル操業の状態にある。橋梁部門は阪神大震災復興関連の受注に伴い操業度も上昇しつつある。一方、水産加工機械の売上は、水産加工業者の設備投資抑制姿勢に経んかが窺われず依然低調に推移しているほか、製缶機械の生産も低水準に止まっている。

(2) 食料品

水産加工品の売上をみると、乾燥珍味では依然低調なほか生鮮珍味も、前年好調の反動もあってこのところ、前年を下回る水準で推移している。一方、魚油は油脂需要の好調を背景に、順調な生産・売上を継続しており、円高に対応して原料に占める輸入魚油の割合を上げる動きもみられる。

(3) その他の製造業

セメントは、東南アジアを中心とした外需の好調に加え、官公需の堅調持続もあってフル生産を継続している。生コンも、引き続き高水準の出荷が続いているが、奥尻島を中心とした災害復旧関連工事向けは一服状態にある。一方、段ボールでは、青果物、加工食品の荷動き低調を反映して抑制的な生産となっている。また、合板は阪神大震災の仮設住

年同期比では医薬・化粧品、雑貨等卸売業でD Iがプラスとなっている。

【小売業】

今期比 -20.8、前年同期比 -23.4と低調な見通し。自動車小売業を除き、「減少」を見込む企業が多くなっている。

【サービス業】

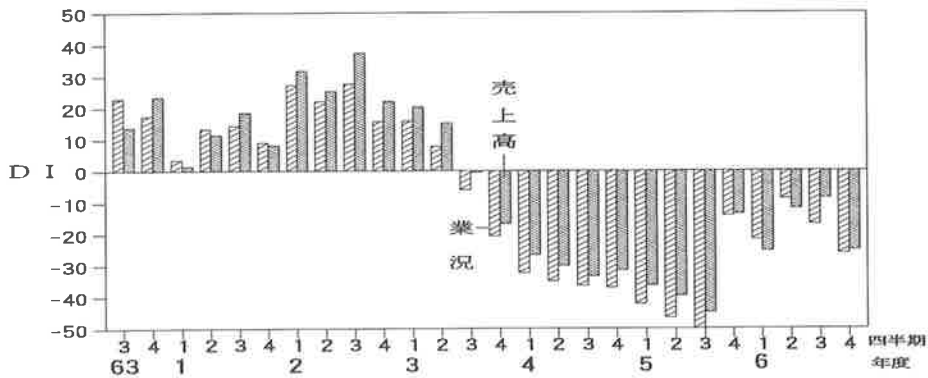
今期比 0.0、前年同期比 -32.3となってお

り、今期比では観光関連業種を中心に「増加」を見込む企業が多くなったが、前年同期比では総じて厳しい見通しとなっている。

3. 資金繰りについて

来期の資金繰りについては、全業種で今期に比べ「好転」とみる企業 3.2%に対し、「変わらない」とする企業が76.6%、「悪化」とみる企業20.2%で、D Iは -17.0となり、今期同様の見通しとなっている。

図-7 業況・売上額D Iの推移
(全業種・対前年同期)



函館市内、第一種大規模小売店舗売上高<10店>

(平成7年4月)

品名	売上高(千円)	対前月比(%)	対前年同月比(%)
衣料品	2,620,902	83.5	90.9
身の回り品	650,729	85.2	94.9
雑貨	710,433	80.0	91.8
家庭用品	693,885	98.3	95.1
食料品	1,752,251	92.8	100.2
食堂・喫茶	142,569	87.2	96.5
サビス	74,704	103.8	104.1
その他	547,996	94.7	99.4
総計	7,193,469	87.8	94.8

<10店>棒二森屋、丸井今井、さいか、和光、ダイエー五稜郭、
テーオー小笠原、長崎屋、イトーヨーカ堂、函館西武、ダイエー湯川店の各店

統計資料

建設業では「景気の見通し難」が21.1%、「純利益の減少」15.8%、「工事価格の値下がり」10.5%。

製造業では「景気の見通し難」が24.5%、「製品安」18.4%、「人件費等経費の増加」10.2%。

卸売業では「販売価格の値下がり」22.2%、「景気の見通し難」13.3%。

小売業では「客足の減少」が20.8%、「販売価格の値下がり」10.4%。

サービス業では「客足の減少」、「客単価の値下がり」がそれぞれ15.6%、「人件費の増加」12.5%。

来期（4月～6月）の見通し

今 期： 7年 1月～ 3月実績

前年同期： 6年 4月～ 6月実績

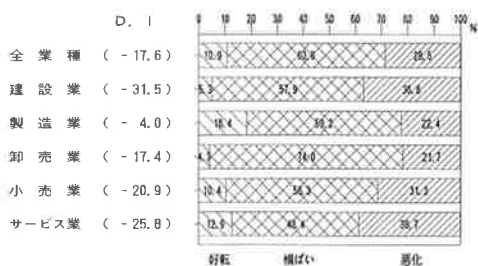
1. 業況について

来期業況見通しを全業種でみると、今期に比べ「好転」するとみる企業21.6%に対し、「横ばい」とみる企業が52.6%、「悪化」するとみる企業は25.8%となっており、D Iは-4.2。

前年同期比でみると、「好転」10.9%に対し、「横ばい」60.6%、「悪化」28.5%で、D Iは -17.6となり、引続き低調な見通しとなっている。

業種別のD Iでみると、今期比の卸売業、

図-5 来期の業況見通し（対前年同期比）



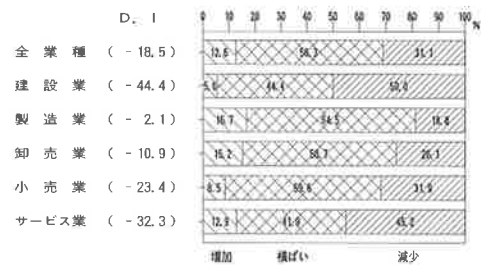
サービス業でプラスに転じているが、前年同期比及び他の業種では、依然厳しい見通しが続いている。

2. 売上額について

来期の売上見通しを全業種でみると、今期に比べ「増加」するとみる企業22.4%に対し、「横ばい」とみる企業が46.9%、「減少」するとみる企業は30.7%で、D Iは-8.3となっている。

また、前年同期比でみると、全業種では「増加」12.6%に対し、「横ばい」が56.3%、「減少」が31.1%で、D Iは -18.5となり、やはり引続き減少傾向が見込まれている。

図-6 来期の売上見通し（対前年同期比）



次に来期の売上見通しを業種別のD Iでみると、

【建設業】

今期比 -42.2、前年同期比 -44.4とマイナス幅が増大しており、今期比、前年同期比ともに「増加」を見込む企業が1社しかないなど、非常に厳しい見通しとなっている。

【製造業】

今期比 8.4、前年同期比-2.1となっており、業種によりバラツキは見られるが、今期比ではプラスとなるなど、「増加」すると回答した企業も多く見られた。

【卸売業】

今期比-4.5、前年同期比 -10.9となっており、総じて低調な見通しではあるが、今期比では食料品、建築材料、雑貨等卸売業で、前

次に売上額を業種別にみると、

【建設業】

今期の工事完成額についてのD Iは、前期比 -42.2、前年同期比 -36.9と、好調裡に推移した前期（10～12月期）から一転して、大幅なマイナスとなっている。前期比、前年同期比ともに、総合工事業で「減少」と回答した企業が顕著となった。

【製造業】

今期の生産額についてのD Iは、前期比が -20.8、前年同期比-8.9となっており、特に水産加工業で前期比、前年同期比ともに「減少」と回答した企業が目立っている。

【卸売業】

今期の売上額についてのD Iは、前期比が -43.5、前年同期比が -31.0となっており、前期比、前年同期比ともに食料品卸売業を中心に「減少」と回答した企業が多くなっている。

【小売業】

今期の売上額についてのD Iは、前期比が -20.8、前年同期比が -26.1となっており、前期比、前年同期比ともに、自動車小売業では「増加」と回答した企業が多くなったが、ほかは低調に推移している。

【サービス業】

今期の売上額についてのD Iは、前期比が -16.1、前年同期比 -31.1となっており、前期比の情報関連、前年同期比の美容・クリーニング業で「増加」と回答した企業が目立ったが、旅館・ホテル、自動車整備業を中心に「減少」と回答した企業が多く、厳しい状況が続いている。

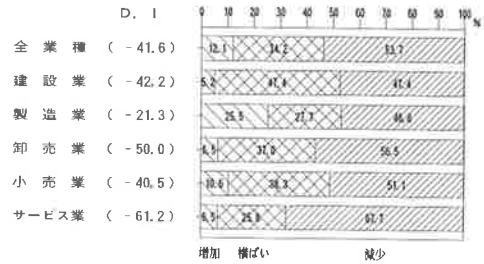
3. 純利益について

今期の純利益を全業種でみると、前期に比べ「増加」している企業11.5%に対し、「横ばい」が33.9%、「減少」している企業54.6%で、D Iは -43.1となり、引き続き減少傾向。

また、今期の純利益を前年同期比でみると、全業種では「増加」12.1%に対し、「横ばい」34.2%、「減少」53.7%で、D Iは -41.6となり、依然減少傾向で推移している。

業種別にみても、すべての業種で前期比、前年同期比ともにD Iが2ケタのマイナス、採算の悪化傾向が続いている。

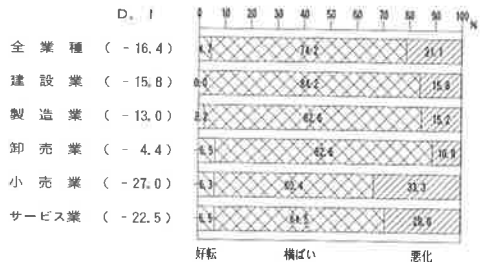
図-3 今期の純利益（対前年同期比）



4. 資金繰りについて

今期の資金繰りを全業種でみると、前期に比べ「好転」している企業 4.7%に対して、「変わらない」とする企業が74.2%、「悪化」している企業21.1%で、D Iは -16.4となっている。

図-4 今期の資金繰り（対前期比）



5. 経営上の問題点

今期最も苦慮している経営上の問題点としては、引き続き「売上・受注の不振」をあげる企業が41.5%で最も多く、またいずれの業種でもトップとなっている。

その他の主要な問題点を業種別にみると、

函館地域における 景気動向

〈平成6年度・第4四半期〉

平成6年度・第4四半期（平成7年1月～3月）の函館地域における景気動向調査（本所調査）結果がまとまりましたので、概況をお知らせします。

尚、調査対象及び回収状況は次の通りです。

業種	対象企業数	回収企業数	回収率
全業種	320社	195社	60.9%
建設業	40	19	47.5
製造業	80	49	61.3
卸売業	70	46	65.7
小売業	90	49	54.4
サービス業	40	32	80.0

（注）本調査結果の中のD Iとある記号は、ディフュージョン・インデックス（景気動向指数）の略で、各調査項目について増加（好転・上昇）企業割合から減少（悪化・低下）企業割合を差引いた値を示しています。

今期（1月～3月）の実績

前 期： 6年10月～12月実績

前年同期： 6年1月～3月実績

1. 業況について

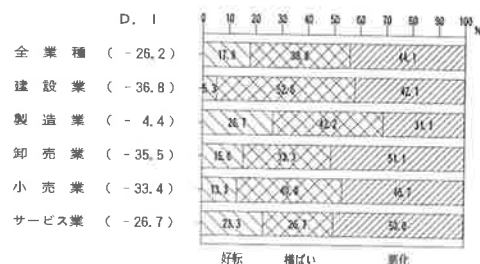
函館地域企業の今期業況を全業種でみると、前期に比べ「好転」している企業13.3%に対し、「横ばい」が42.1%、「悪化」している企業44.6%で、D Iは -31.3とマイナス幅が大きくなっている。

業種別のD Iでも、すべての業種で2ケタのマイナスとなっており、特に閑散期の建設業では前期より「好転」したと回答した企業がないなど、停滞している。

今期の業況を前年同期比でみると、全業種では、「好転」17.9%に対し、「横ばい」が38.0%、「悪化」が44.1%で、D Iは -26.2となり、平成3年度第3四半期以降、14期連続のマイナスとなった。（図-7参照）

業種別のD Iでも、いずれもマイナスを脱せず、企業の業況感は未だに停滞基調で推移している。

図-1 今期の業況（対前年同期比）



2. 売上額について

今期の売上額を全業種でみると、前期に比べ「増加」している企業15.6%に対し、「横ばい」が41.1%、「減少」している企業43.3%で、D Iは -27.7とマイナスに転じている。

また、今期の売上額を前年同期比でみると、全業種では「増加」16.8%に対し、「横ばい」41.3%、「減少」41.9%で、D Iは -25.1となり、やはり14期連続のマイナス、依然低水準で推移している。（図-7参照）

図-2 今期の売上額（対前年同期比）

